

第133回日本航海学会秋季 講演会 プログラム

11月7日(土) プログラム(2)

会場		第1会場：セミナー室(3)	第2会場：セミナー室(4)	第3会場：多目的教室	
		第2セッション 座長：田丸 人意 (東京海洋大学)	第5セッション 座長：内野 明子 (東京海洋大学)	第8セッション 座長：南 清和 (東京海洋大学)	
		講演番号：K133-04	講演番号：K133-12	講演番号：K133-20	
09:30-09:50		VHF無線電話通信の内容から見たVTSの効果検証 正会員 潮田 広明 (鳥羽商船高等専門学校) 学生会員○大田 大 (鳥羽商船高等専門学校) 非会員 Cemi YURTÖREN (イスタンブール工科大学) 非会員 Y.Voİkan AYDOĐDU (イスタンブール工科大学)	G モデル予測制御による船舶制御に関する基礎研究 正会員 松田 真司 (海上保安大学校)	G 大陰棚石油開発事例の分析に基づく紛争原因の考察 正会員○大岡内 美香 (東京海洋大学) 正会員 遠見 真 (東京海洋大学) 正会員 黒川 久幸 (東京海洋大学) 正会員 竹本 孝弘 (東京海洋大学)	
09:50-10:10		講演番号：K133-05 OZIを用いた海上交通分析の基礎研究 正会員○福田 巖 (東京海洋大学) 正会員 庄司 るり (東京海洋大学)	G 船舶による高精度単独測位の精度評価と応用提案 学生会員○齊藤 諒子 (東京海洋大学) 正会員 久保 信明 (東京海洋大学) 正会員 霜田 一将 (航海訓練所)	F 男性中心社会変革のための立法とその問題点 - 女性・女性船員の就労を手掛かりとして - 正会員 遠見 真 (東京海洋大学)	
10:10-10:30		講演番号：K133-06 AIS記録データに基づく避航船舶時の相対距離について 正会員○三宅 里奈 (海上技術安全研究所) 正会員 福戸 洋司 (海上技術安全研究所) 正会員 長谷川 和彦 (大阪大学)	G 衛星搭載型合成開口レーダを用いた海上交通モニタリング - 陸域観測技術衛星だいち2号の観測性能 - 正会員○渡川 真規 (株式会社バスコ) 非会員 三五 大輔 (株式会社バスコ)	G エラー防止のための教育・訓練 正会員○園枝 佳明 (東京海洋大学) 正会員 中村 直哉 (航海訓練所) 正会員 鹿島 英之 (東京海洋大学) 正会員 村井 康二 (神戸大学)	
10:30-10:45	休憩				
		第3セッション 座長：瀬田 広明 (鳥羽商船高等専門学校)	第6セッション 座長：丹羽 康之 (海上技術安全研究所)		
		講演番号：K133-07	講演番号：K133-15		
10:45-11:05		EODISにおける情報レイヤーのユザビリティ関す研究 正会員 中川 浩一郎 (航海訓練所) 正会員○大井 一進 (海技大学校) 正会員 石倉 歩 (海技大学校) 正会員 村田 信 (航海訓練所)	G 魚群探知機エコーとGPS測位によるメタンブルーム位置特定 正会員○千葉 元 (富山高専専門学校船舶学科) 非会員 竹内 康 (富山大学理工学研究所) 非会員 島 俊郎 (富山県立工学部環境工学科) 正会員 八木光晴 (長崎大学水産学部)		
11:05-11:25		講演番号：K133-08 東京湾海上交通流ネットワークを利用した船舶動静の予測に関する基礎研究 学生会員○白井 友子 (東京海洋大学大学院) 正会員 久保 信明 (東京海洋大学) 非会員 稲田 健二 (日本海難防止協会) 正会員 田丸 人意 (東京海洋大学)	F 漂流ブイを用いた日本周辺海域における波高と表層流速の関係 正会員 ○嶋田 陽一 (水産大学校)		
11:25-13:00	昼休み 運営委員会				
会場		第1会場：セミナー室(3)	第2会場：セミナー室(4)	第3会場：	
セッション名		海上交通工学研究会セッション (13:00-16:00)	最低主機出力ガイドライン検討プロジェクト セッション (13:00-16:00)		
13:00-16:00		「北極海航路の利用と極域等における観測技術の実際」 (日本海洋学会ブレイクスルー研究会共催) 13:00-13:05 研究会長挨拶 山田多洋人 (海上保安大学校) 13:05-13:45 「ロジスティクスから見た北極海航路の魅力について」 黒川 久幸 (東京海洋大学大学院海洋科学技術研究科) 13:45-14:25 「船長が見た極域(北極海) 航海の今と未来」 赤嶺 正治 (海洋研究開発機構所属観測船「みらい」元船長) 14:25-15:05 「北極海の海水分布変動をもたらす要因 ～北極海航路利用に向けて～」 島田 浩二 (東京海洋大学海洋科学部) 15:05-15:45 「北極海における観測支援」 徳長 航 (株式会社グローバルオーシャンディベロップメント) 佐藤 憲一郎 (株式会社マリン・ワーク・ジャパン)			
16:00-17:30	研究委員会				

講演者・参加者へのお知らせとお問い合わせ

講演者へのお知らせ：講演会の運営について

- 講演時間は、発表15分、質疑応答5分です。
- 発表開始の後、12分で1鈴を、15分では2鈴を鳴らして発表時間の終了をお知らせします。
15分を経過してもまだ講演が続いている場合には、16分で3鈴を鳴らし、その時点で発表を打ち切ってください。また20分の講演終了時間は長鈴にてお知らせいたします。

参加者へのお問い合わせ：質疑応答について

- 質疑応答におけるご質問の際には、ご所属とお名前をお知らせ下さい。
- 時間の許す限り、活発なご議論をお願いいたします。

以上